

関係者各位

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、海水の持ち込みがあり、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、コクロディニウム コンボルタムと呼ばれるプランクトンが最大170細胞/ml確認されました。
またコクロディニウム タイプ カササと呼ばれるプランクトンが最大40細胞/ml確認されました。当プランクトンは、魚に対する有害種であり、九州などにおいて度々赤潮被害が確認されています(ブリの場合致死細胞密度:2,000細胞/ml)。そのため、今後海色や飼育魚の状態を注視し、飼育魚にストレスがかからないよう十分注意してください。

また、麻痺性貝毒の原因種は確認されませんでした。

今後、飼育魚や海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

※(本日の調査は、海水1mlでのプランクトンの検鏡を実施しています。)

採集地点 採水時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	コクロディニウム コンボルタム	コクロディニウム タイプ カササ
	(m)	(°C)	(psu)	(mg/l)		
ヒロウラ 採水時間 : 透明度 - m	0.0	-	-	-	52	40
ヒロウラ 採水時間 : 透明度 - m	3.0	-	-	-	170	0